

## 半歩先へ！ ～各地研修会等を経験して～

副会長 島田 修

### おかげさまで新潟野球サミット 2016 から1年以上たちました

本当に多くの方々のご協力をいただいて実現できたサミットの日から、あっという間に時間が過ぎました。この間、各加盟団体は、様々な場面でNYBOCの普及に努めてきましたが、浸透するにはまだまだ時間がかかるのが現実です。

### 研修、講演活動をとおして

私自身、昨年から今年にかけて、計15カ所ほどで講演や説明会等の機会をいただき、普及のための活動を行ってきました。対象は野球団体が中心ではありませんでしたが、時にはロータリークラブやスポーツ少年団、スポーツ協会など、野球関係者以外の皆様とも貴重な時間を過ごさせていただきました。

反応は様々ですが、他県の方々からは「こんな組織をつくるのは難しすぎる。どうして一つにまとめることができたのか」という質問を多くいただいたことが印象に残っています。また新潟メソッドについては「当たり前のことしか書いてねえじゃねえか」といわれたこともしばしばでした。腹が立つどころか、「当たり前」と感じていただけることが嬉しく、一人ニヤニヤしたこともいい思い出です。



中体連顧問研修会から

### スポーツの力

幸い、私たちのような団体の枠を越えた取組が全国各地で立ち上がりつつあると聞き、勇気をもらっています。

21c型穂波プロジェクトのキャッチフレーズは「始めよう！楽しもう！続けよう！」です。まずは始めてもらわなければなりません。そのためにはスポーツの力をもっともっと理解していただく必要があります。たとえばスポーツに勝ち負けはつきものですが、負けたとき「正しく悲しむ」ことも学びの一つであり、得るものは本当にたくさんあるのだと思います。

### 歩みを止めずに

野球を取り巻く環境は国内外を問わず、刻一刻と変化しています。「流木は腐らない」といいます。必要あるところは勇気を持って「試す」「変える」、しかし変わってはいけないところは絶対に「守る」といった、不易と流行を地でいく組織でありたいと思っています。

NYBOCでは新潟メソッド普及委員会を立ち上げ、さらに普及活動に力を入れています。地道な作業ではありますが、半歩先を行く組織を目指してこれからも歩んでいきたいと思っています。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 。。。全国へ続く県内・ブロック大会の予定。。。

3月の侍ジャパンのWBCベスト4から今シーズンが始まり、続く選抜高校野球大会では本県の出場校はなく寂しいものの、2試合連続の引き分け再試合が話題となりました。そして、プロ野球の開幕とともに、各団体でもシーズンインとなり、県内各地で諸大会が行われています。各団体が全国大会を目指す県内大会やブロック大会の日程をここに掲載します。各団体の活動を知り、切磋琢磨していきましょう！結果は後日掲載します。

※加盟チーム数により他県とのブロック開催の団体もあります。

### <新潟県野球連盟>

高円宮賜杯第37回全日本学童軟式野球新潟県大会【全国大会は明治神宮球場】

(マクドナルド・トーナメント)

6月17日(土)、18日(日)、24日(土) 会場:新発田市真木山中央公園野球場



## <新潟県スポーツ少年団>

第39回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 新潟県大会【北信越大会は新潟市、全国大会は宮城県】

6月24日(土)、25日(日) 会場:新潟市みどり森の運動公園野球場ほか

## <リトルリーグ新潟ブロック>

第51回全日本リトルリーグ野球選手権信越連盟決勝大会【全国大会は長野県営上田野球場】

5月21日(日)、27日(土) 会場:長野県松本市野球場ほか

## <リトルシニア新潟ブロック>

第45回リトルシニア日本選手権大会信越大会【全国大会は東京都・明治神宮球場】

6月17日(土)、18日(日)、25日(日)、7月2日(日) 会場:新発田市五十公野野球場ほか

## <新潟ポニー>

第41回関東連盟春季大会兼第21回全日本選手権会長杯大会予選【全国大会は東京・江戸川区球場ほか】

5月7日(日)~ 会場:東京都

## <新潟ヤング>

第25回ヤングリーグ選手権大会北日本支部予選【全国大会は兵庫県淡路市・淡路佐野運動公園野球場】

6月4日(日) 会場:福島県郡山市南東北ヤング球場

## <新潟ボーイズ>

第48回日本少年野球選手権大会長野県支部予選【全国大会は大阪・舞洲スタジアムほか】

6月4日(日)、11日(日) 会場:長野県

## <新潟県中学校体育連盟>

第39回全国中学校軟式野球新潟県大会【北信越は長野県諏訪市、全国大会はサンマリノスタジアム宮崎】

7月22日(土)、23日(日) 会場:新潟市みどり森の運動公園野球場ほか

## <新潟県高校野球連盟>

第99回全国高校野球選手権新潟大会【全国大会は阪神甲子園球場】

7月7日(金)~23日(日) 会場:ハードオフエコスタジアムほか

第62回全国高校軟式野球選手権新潟大会【北信越は富山県魚津市、全国大会は兵庫県明石市ほか】

7月17日(月祝)~18日(火) 会場:南魚沼市ベーマガスタジアム



## NYBOC & METHOD チャレンジ

### 第4回

みなさんのNYBOC理解度を試すクイズです!

- 1 新潟メソッドの「始めよう!」の章で、3つの「大切さ」が書かれています。「礼儀」・「ルール」、もう1つは何? ( )
- 2 新潟メソッドで、「野球だけやったらいい」ではなく、野球以外の何を「大事にしよう」と呼びかけている? ( )
- 3 NYBOCに加盟する団体の中で、競技するチームを持たない団体はどこでしょう? ( )

※答えはP4にあります。

## 卒団・卒部アンケートを実施

2016年度に卒団・卒部した選手を対象(小学生は抽出クラブ、中高生は3年生全部員)

調査期間は、2016年12月~2017年2月に、小学生の209名(学童・スポ少185名、リトル24名)、中学生の1,567名(中体連1,510名、リトルシニア57名)、高校生の914名の合計2,690名から全12項目のアンケートに回答いただきました。そのうちの7項目の結果について公表します。

### ●野球をやって良かったと思いますか?

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ①大変良かった        | 小71%、中67%、高72%  |
| ②良かった          | 小22%、中26%、高21%  |
| ③どちらかという良かった   | 小7%、中6%、高6%     |
| ④どちらかという良くなかった | 小0%、中1%、高1%     |
| ⑤良くなかった        | 小0%、中0.4%、高0.3% |

### ●良かったことは何ですか?(数値は人数)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| ①良い友達ができ      | 小129、中806、高512 |
| ②勝つ喜びを知       | 小108、中568、高251 |
| ③努力することの大切さを知 | 小101、中629、高379 |
| ④挨拶などの習慣が身につ  | 小73、中558、高321  |
| ⑤人間的に成長でき     | 小15、中528、高549  |

●今後野球を続けていくつもりですか？

- ①続ける 小88%、中58%、高46%  
 ②続けない 小12%、中42%、高54%



●どこまで野球を続けたいですか？（趣味・サークルは除く）

- ①中学生まで 小44人、中10人  
 ②高校生まで 小42人、中516人、高22人  
 ③大学生まで 小8人、中134人、高136人  
 ④社会人まで 小12人、中114人、高197人  
 ⑤プロ・メジャーまで 小66人、中120人、高36人

●野球を続けないことにした理由は何ですか？

（上記項目で「続けない」と回答した人対象）

- ①実力はここまで 小4人、中170人、高100人  
 ②十分満足 小7人、中159人、高122人  
 ③他のスポーツを 小12人、中217人、高106人  
 ④勉強に力を入れたい 小3人、中120人、高76人  
 ⑤ほかにやりたいこと 小5人、中204人、高69人  
 ⑥趣味の範囲で 小0人、中89人、高112人

●「野球手帳」を知っていますか？

- ①知ってる 小188人、中1357人、高713人  
 ②知らない 小20人、中221人、高201人

●「新潟メソッド」を知っていますか？

- ①知ってる 小57人、中957人、高319人  
 ②知らない 小140人、中610人、高595人

この集計の中で最も特徴的なものとして、上記の「今後野球を続けていくつもりですか？」の質問に対し、「続けない」と回答した中学生の割合の「42%」があげられます。続けない理由としては、「他のスポーツ」や「ほかにやりたいこと」の割合が多い。そこで、各指導者が「楽しさは勝つことの一部」として考え、例えば練習試合等で、多くの選手に活躍の場を与え、選手自らが野球の楽しさや面白さ、魅力、奥深さなどを感じとり、野球を「続けない」の減少につなげることはできないだろうか。私たちNYBOCの掲げる「続けよう！」の実現に向け、今後、さらに取り組むべき課題をこのアンケート集計が表しています。



チームの横顔  
 十日町市立松之山中学校

中体連編



平成28年度に郡市大会3位・中越地区大会に出場した「吉田・松代・松之山チーム」

①所在地 十日町市松之山地区

②指導者からひと言

松之山中野球部は、ここ数年の入部生徒数が各学年2～3人であり、合同チームを組んで大会に参加しています。以前は隣り（といっても10kmほど離れている）の松代中との合同チームでしたが、27年度の新チームからは同じく部員不足の吉田中も加わり、吉田・松代・松之山3校合同チームとして1年間活動を行い、28年度は郡市大会3位、中越地区大会に出場することができました。28年度新チームからは郡市内の部員不足の学校が増えたため郡市内で2～3チームの合同チームを編成することになり、その都度チーム編成が変わっています。

平日は「投げる・捕る・打つ・走る」の基本的な練習を行い、休日は学校間で日程を調整しながら合同チームでの活動を行っています。グラウンド練習ができない冬期間も合同チーム練習を行うこともありました。休日の合同チーム活動では、試合を想定した練習や練習試合を行い、選手が野球の楽しさや奥深さを実感しています。また選手たちは他校の選手とのコミュニケーションを積極的にとりあうことで、チームとしてのまとまりを高めようとしています。合同チームで他校の仲間と活動することで、選手たちは多くのことを学び、成長している姿を見せてくれています。

平日は「投げる・捕る・打つ・走る」の基本的な練習を行い、休日は学校間で日程を調整しながら合同チームでの活動を行っています。グラウンド練習ができない冬期間も合同チーム練習を行うこともありました。休日の合同チーム活動では、試合を想定した練習や練習試合を行い、選手が野球の楽しさや奥深さを実感しています。また選手たちは他校の選手とのコミュニケーションを積極的にとりあうことで、チームとしてのまとまりを高めようとしています。合同チームで他校の仲間と活動することで、選手たちは多くのことを学び、成長している姿を見せてくれています。

松之山中野球部に入部する生徒は未経験者がほとんどです。29年度は4名の生徒が「始めよう！」という意思を示し、新たに野球をする仲間に加わりました。今活動している選手全員が、他校の選手も含めた仲間と共に野球を「楽しもう！」、そして中学校を卒業しても「続けよう！」とする思いを持てるような活動をこれからも行っていきたいと思います。  
 <野球部顧問 加藤 輝>

あなたも「新潟メソッド」を冊いかがですか？

NYBOCは、新潟の目指すべき野球スタイルをまとめた「新潟メソッド」を希望者へ販売しています。読みやすいように作成してあります。ご家族やチームのみなさんでも、ご一読ください。

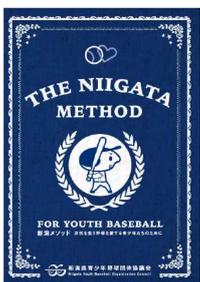
この「新潟スタイル」を全国へ！

新潟市の学童・スポ少大会では指導者必携となっています！

購入希望は、E-mailで

[nyboc@grace.ocn.ne.jp](mailto:nyboc@grace.ocn.ne.jp)

へお問合せください！



# 研修会で「新潟メソッド」の理解を深めよう！

NYBOCでは「新潟メソッド」の理解を深め、全県に広めるために、NYBOCの担当者を講師として派遣します。それぞれの団体もしくは地域・地区の抽選会や会議、市町村体協など、「新潟メソッド」研修会をぜひ開催しましょう。研修時間は30分から1時間程度を基本としますが、お気軽にご相談ください。県内全域へ対応します。

お問い合わせは、各団体を通じるか、NYBOC事務局へE-mail でお願  
いします。 NYBOC E-mail : [nyboc@grace.ocn.ne.jp](mailto:nyboc@grace.ocn.ne.jp)

〔派遣実績〕北信越ブロックスポーツ少年団、上越市野球連盟（「育てよう野球少年」実現に向けて講演会）  
十日町市スポーツ協会、燕市ロータリークラブ、新潟県高校野球連盟リーダー研修会 など



## ケガのないチーム作りを目指して！

肩肘検診やコンディショニング講習会などを考えている団体やチームのみなさんへ、野球障害ケア新潟ネットワークの派遣についても、NYBOCへお問合せください。



←肩肘検診  
トレーニング教室↓



＜野球フェスタから＞

### NYBOC & METHOD チャレンジ

#### 第4回の答え

1. 思いやり
2. 生活
3. 野球障害ケア

次号につづく！

## 〜〜編集後記〜〜

プロ野球が開幕して2ヵ月が経ち、各球団とも40試合ほどが経過。開幕当初の構想に誤算が生じ、立て直しを図るべく選手起用に苦慮しているチームもある。そんな中、本県出身者では、読売巨人軍の池田駿投手（新潟明訓高卒）が、チーム試合数の約半数に登板し、防御率も3点台と、順調に経験と実績を積み重ねており、県民の大きな期待に応えている。

さて、新潟でのプロ野球公式戦は、7月のDeNA対阪神戦の1試合のみであるが、阪神の好調により盛り上がり期待される一方、ファームで調整中のDeNAの飯塚悟史投手（日本文理高卒）の「1軍デビューを新潟で！」と期待する少年少女も多くいることだろう。頑張ってもらいたい。

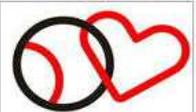
＜広報委員長 中原文二＞

# 始めよう！楽しもう！続けよう！

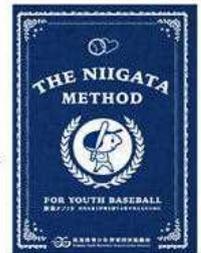


「いいプレーには  
自然と拍手がわく  
グラウンドっていいよね  
敵味方なく、ね！」

スポーツ障がい予防  
キャッチフレーズ



あなたのプレーを  
守りたい



NYBOCは  
新潟メソッドを  
推奨しています



＜加盟団体＞  
新潟県野球連盟  
新潟県スポーツ少年団  
リトルリーグ信越連盟新潟ブロック  
リトルシニア信越連盟新潟ブロック  
新潟ポニーベースボールクラブ  
新潟ヤング  
新潟ボーイズ  
新潟県中学校体育連盟軟式野球専門部  
野球障害ケア新潟ネットワーク  
新潟県高等学校野球連盟

